

2022.3 編集・発行／高幡消防組合
印刷会社／(株)フロムタイムエージェンシー



目次

2ページ 消防出初式・叙勲受章者の紹介

3ページ 車両解体訓練・山岳救助訓練

4ページ 新人紹介・中土佐消防団上ノ加江分団新ポンプ車紹介



インフォメーション 火事と救急は消防まで!!

■ 消 防 本 部	〒785-0031	須崎市山手町1-7	TEL (0889) 43-1272
■ 須 崎 消 防 署	〒785-0031	須崎市山手町1-7	TEL (0889) 42-0119
■ 中 土 佐 分 署	〒789-1301	中土佐町久礼6653-1	TEL (0889) 52-2319
■ 津 野 山 分 署	〒785-0502	津野町北川2589-1	TEL (0889) 40-1099
■ 葉 山 出 張 所	〒785-0201	津野町永野265-1	TEL (0889) 55-2330
■ 四 万 十 清 流 消 防 署	〒786-0007	四万十町古市町5-1	TEL (0880) 22-0001
■ 四万十清流消防署 西分署	〒786-0521	四万十町津賀177-12	TEL (0880) 28-5525

☆お問い合わせは、お近くの消防署までお願いします。

令和4年 消防出初式



高幡消防管内の各市町で令和4年消防出初式を開催しました。(1月9日須崎市、四万十町、中土佐町)

消防署員・消防団員の士気の高揚を図り、消防技術の向上に努め、合わせて住民の火災予防思想の普及を目的としています。



今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為に、規模を縮小し式典を実施しました。

一日も早く新型コロナウイルスが終息し、また災害の少ない平穏な年でありますことを願いますとともに、住民の皆様にとって夢と希望に満ちた良い年になりますことを祈念します。



令和三年 叙勲受章者の紹介

高幡消防組合でご活躍されていた6名の皆様が内閣府より「瑞宝単光章」を受章されました。

受章者は、長年にわたり国民の生命・身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化・充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

春の叙勲者

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 須崎消防団副団長

ほりうち さだあき

堀内 貞明 様 75歳

元 高幡消防組合 四万十消防団副団長

おの しげあき

小野 重明 様 71歳

秋の叙勲者

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 須崎消防団分団長

ささおか けいすけ

笹岡 啓助 様 70歳

元 高幡消防組合 中土佐消防団副団長

つの たかおき

津野 高興 様 70歳

第36回危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 消防司令

まえだ ひろゆき

前田 廣行 様 71歳

第37回危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 消防司令

きはら まさとし

木原 正利 様 70歳

車両解体訓練



資機材を使用し車両のドアを開放中①

高幡消防組合では、消防署ごとにあらゆる訓練を実施しています。津野山分署では、12月上旬に(株)オグラのご協力のもと、廃車予定の車両を使用し「車両解体訓練」を実施しました。

自動車事故で車両が大破し、負傷者が車内に閉じ込められた想定で、特殊な資機材を使用してドアの取り外し、屋根の開放などを行うことで、車内の負傷者を救出することを目的とした訓練です。



資機材を使用し車両のドアを開放中②



資機材の性能等の説明を受ける

自動車事故では発生状況により、破損や変形が様々であり、それに応じた最も適正な方法で救出する必要があります。今回、実際の車両を使用した訓練では、各隊員の知識や技術の向上を図る上で有意義な訓練となりました。



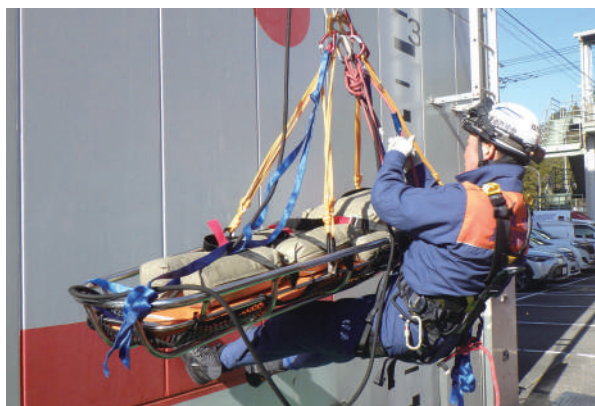
四万十町の総面積の内約9割は山林であり、同町を管轄する四万十清流消防署では定期的に山岳救助の基本訓練及び想定訓練を実施しています。山岳救助では様々な救助方法がありますが、今回は署内の施設を利用して、負傷者を救助するためのロープレスキュー訓練を実施しました。より効率的な救助が行えるように今後も訓練を重ね、知識・技術の向上を図っていきます。

コロナ禍でハイキングや登山などの流行に伴い山間部での事故が全国的に増加傾向にあります。天候やご自身の体調を十分に考慮しつつ、安全対策の徹底をお願いします。

山岳救助訓練



訓練塔を使用した引揚救助の様子



負傷者を担架に乗せ、引揚げる様子

NEW FACE

新人職員への質問

①年齢 ②所属 ③趣味 ④意気込み

ひがし じゅんじ
東 純司

- ①23歳
- ②須崎消防署
- ③ツーリング
- ④住民に寄り添い信頼される消防職員になれるように頑張ります。



なかごし けんと
中越 健人

- ①21歳
- ②津野山分署
- ③ドライブ・ツーリング・旅行
- ④一日でも早く仕事を覚えて、即戦力となるよう頑張ります。



春の火災予防週間

毎年、3月1日から3月7

日までの間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

この運動は火災の発生しやすい時期を迎えるにあたり、住民の皆様には防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

令和3年度の全国統一防火標語は

「おうち時間 家族で点検

火の始末」です。今一度、

家族で火災の予防について話しあってみてはどうでしょうか。



中土佐消防団上ノ加江分団新ポンプ車

令和3年12月2日、中土佐消防団上ノ加江分団に新しいポンプ車を配備しました。

ポンプ車とは水を放出する能力を持つ車両で火災現場近くの防火水槽、消火栓などから水を吸い上げ放水します。今後、訓練や火災、災害現場で活躍します。



いすゞエルフ	2990cc
全長	5570mm
全高	2600mm
ディーゼル	6人乗り
全幅	1890mm
全重	4710kg